



長谷川テル 足跡の旅 武漢・重慶

2014年西支部主催中国・東北部旅にてジャムス市烈士墓苑で初め

てテルさんのお墓を拝見。後、娘さんに会い翌年には帯同して墓参。テルは10年の中国滞在であった。長く活動した地域が重慶で、最初に日本兵士に声をかけたのが武漢である。中国は広く、活躍した場と終焉の地が遠く離れているのだが今回訪ねることが出来た。日本軍攻撃困難な中、命を守るため点々と活動された場が、大半は整備されていたが、日本軍空爆にもめげず反攻雑誌を作成した場が手つかずで残っており、80年経過しても臨場感溢れる状態で見えた。立ち去ろうとした時、若い女性から声をかけられ雑誌を頂いた。ここは仮の建物で改装中です雑誌には本来飾ってあるはずのテルの彫刻像が載っていた。女性館長さんの気遣いに心は涙しました。重慶市人民対外協会30名全員表敬訪問。記念撮影を終え別れ際通訳の方が名刺を希望され、人民交流に力を入れている是非またお会いしたいと要望され、日中友好協会名の名刺をお渡ししました。



推しの本 ㊦

舞妓さんちのまかないさん
全30巻 小山愛子(著)
出版社：小学館

今回はマンガです。
京都の花街の舞台裏を覗き
見る気分。丁寧に描かれ
た絵がいいです。

ここは京都のど真中にある花街。舞妓さんたちが深夜、お仕事を終えた後帰ってきて、共同生活を送っているのは、「屋形」と呼ばれるおうちです。とある屋形で「まかないさん」として舞妓さんたちに毎日の食事を作っているのはなんと弱冠16歳の少女・キヨ。彼女がまかないさんになったのには、ある意外な理由があって…。華やかな花街の舞台裏、普通の日のご飯を通して温かな人間模様が描かれています。

舞妓に憧れて上京したものの気が付けば、たまたま同じ屋根の下で料理のできないお姉さん達と比較したら普通に親子丼を作れた事で料理番を任されー。

要約すれば台所から舞妓になるプロセスを、ほのぼのとした気持ちで知る事が出来る漫画作品です。

ほんのちょっとでも相手を思いやる気持ちの大切さがわかります

中村寿子さんの『暮らしを科学する』No.154

— すてきな生物たち —

《面白・仰天昆虫 その1》

岐阜市、岐阜城下の公園に『和名昆虫博物館』があります。世界中の様々な昆虫標本を展示した二階建てのこじんまりした民営博物館。まずは、仕入れてきた面白仰天すてきな昆虫を紹介。

えっ！ フクロウさん…？



(反転しています)
和名:フクロウチョウ

以前、猫の顔に似た幼虫のジャノメチョウを紹介しました。このジャノメチョウ亜科に属するグループにフクロウチョウがあります。さかさまにするとこのとおり。大きさは7~15cmと大型で標本を見ると翅がフクロウの『顔』眼のような模様のおかげで天敵の鳥たちに襲われにくいとされます。進化の不思議を感じました。

熊

編集員は、先月田舎(香川県)に女子会のため帰りました。ふと、四国に熊はいるのだろうか？と思いAIに聞いてみました。

四国に熊はいるのか？

四国には、ツキノワグマが生息しています。が、生息個体数は推定16~26頭と極めて少なく、絶滅が心配されている。生息地は主に徳島県と高知県にまたがる、剣山系を中心とした標高900~1500mの山間部に限られる。現在は捕獲禁止の措置がとられ、保護が勧められている。

九州に熊はいるのか？

九州にも、かつてはツキノワグマがいたが1957年に子グマの死骸が発見されたのを最後に生息が確認されておらず。2012年に環境省が絶滅を宣言した。

西支部太極拳木曜日を受講されている皆さんに恒例の、日中友好協会カレンダー『2026 中国悠久の旅』をプレゼント致します。ご期待ください！

◆ 昆布の販売いたします ◆

第18回 中国百科検定

12月6日(土) 試験時間 15時から

初級・3級・2級・1級・特級の全級を実施します。
申込は11月16日(火) 日中友好協会府連事務所まで
試験会場：大阪府社会福祉会館 谷町7丁目西へ